

※当資料は、米国時間 2020 年 4 月 23 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

MCAFEE MVISION CLOUD が MICROSOFT TEAMS での セキュアでコンプライアンスに準拠したデータとユーザーアクティビティの管理を実現

Microsoft Teams での機密データの検出、コラボレーションコントロール、 脅威防御、アクティビティ監視機能を強化

デバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業である米国マカフィー（McAfee LLC、本社：米国カリフォルニア州）は、McAfee MVISION Cloud が Microsoft Teams の web フックや暗号化ペイロードなどの暗号化機能の拡張をサポートすると発表しました。これにより、企業は従業員に Teams をコラボレーションプラットフォームとしての使用を推奨することで、会話や通話、文書のアップロードや共有が可能になり、生産性が向上します。また、データは暗号化によって守られているかを McAfee MVISION Cloud によって診断されます。McAfee MVISION Cloud は、Microsoft Teams が公式に認定する数少ないクラウドアクセスセキュリティブローカー（CASB）です。

従業員にリモートワークを要請する企業が増える中、在宅勤務は多くの人にとって今や現実になっています。Teams は Microsoft 365 のチームワークのハブであり、従業員がより積極的で効果的に働けるよう、人、コンテンツ、ツールを統合します。Microsoft によると、Teams の 1 日のユーザー数は 4,400 万人¹ を突破し、利用者数はわずか 7 日間で 1,200 万人増と急増しています。在宅勤務の従業員が Teams を使って行う会議や通話は 9 億分/日を超えています。経営者は、従業員のためにデジタルセキュリティのベストプラクティスについての研修を実施し、リモートワークによって生じるおそれがあるオンラインの脅威に対抗するツールを提供する必要があります。

マカフィーのクラウドセキュリティ事業担当シニア バイス プレジデントであるラジブ・グプタ（Rajiv Gupta）は次のように述べています。「コラボレーションを効果的に行うことができれば、企業はビジネスを加速させることができます。ただし、偶発的なデータ漏えいや誤用などの事故を防ぐための「ガードレール」の設置が重要です。McAfee MVISION Cloud はこれらの機能を Microsoft Teams に提供し、適切なデータだけが内部および外部の適切な関係者と共有されることを確実にします。これにより、企業データと知的財産は保護され、ガバナンス、リスク、コンプライアンスの各ポリシーに準拠し、効果的で安全なコラボレーションを実現します。」

McAfee MVISION Cloud for Teams は、マカフィーのクラウドアクセスセキュリティブローカー（CASB）技術を単一の統合プラットフォームで活用し、企業が確実にデータを保護し、クラウドの脅威を防御可能にするクラウドネイティブなソリューションです。MVISION Cloud for Teams は以下の機能も提供します。

- **最新のデータセキュリティ：**既存のデータ損失防止（DLP）ポリシーを、Teams の全てのチャンネルにおけるメッセージとファイルに適応し、キーワード、フィンガープリン

ト、データ識別子、正規表現、コンテンツとメタデータの一致の強調表示に基づいてポリシーを実行します。

- **コラボレーションの制御**：複数のチャンネルに投稿されたメッセージやファイルの共有を特定のユーザーに限定します。これには、外部のいかなる場所へのデータ共有の遮断も含まれます。
- **包括的な修復**：規制されたデータの Teams へのアップロードの監査を有効にし、ユーザーの指導、管理者への通知、隔離、廃棄、ユーザーアクションの復元および削除により、ポリシー違反を修復します。エンドユーザーが自分自身でアクションを修正できるため、IT セキュリティチームの負担を軽減することが可能です。
- **脅威防御**：内部脅威やアカウント侵害を示す異常なふるまいを検知および防止します。また、Teams のすべてのユーザーアクティビティの詳細な記録をキャプチャし、機械学習を利用して複数のヒューリスティックなアクティビティを分析し、脅威を正確に検知します。
- **フォレンジック調査**：すべてのユーザーアクティビティについての自動生成された詳細な監査証跡など、フォレンジック調査のための豊富な機能を提供します。
- **いつでもどこでもセキュリティー保護とポリシー遵守**：ブラウザやネイティブアプリを含む複数のアクセスモードを保護し、ユーザー、デバイス、データ、場所などのコンテキスト要素に基づいて制御を適用します。また、データの適切な制御を欠く個人用デバイスからのアクセスをブロックします。

すでに多くの大企業が、MVISION Cloud for Teams をセキュリティ、ガバナンス、コンプライアンスの要件を満たすために使用しています。このソリューションは、柔軟なポリシーと使いやすさから、あらゆる業界のあらゆる規模の企業に適しています。マカフィーでは、今回の機能拡張に対応し、サポートを強化しました。

米国農業組合 Land O'Lakes のシニア情報セキュリティエンジニアであるエリオット・ビューケルマン (Elliott Breukelman) 氏は、次のように述べています。「McAfee MVISION Cloud を使用すれば、機密情報をより適切に保護できます。DLP ポリシー、コラボレーションコントロール、コンテキストアクセスコントロールを容易に実施し、内部や侵害されたアカウントからの脅威に対処し、すべてのユーザーアクティビティを追跡し、ユーザーがリモートワークしたり、クラウドアプリケーションを使用してコラボレーションする際に企業データを保護してくれます。」

Microsoft の Microsoft Teams 情報保護担当プログラム管理パートナーディレクターであるラシュミ・マラビアラチ (Rushmi Malaviarachchi) 氏は、次のように述べています。「増大し続ける要求をサポートし、保護してくれるマカフィーの継続的な取り組みを嬉しく思います。McAfee MVISION Cloud が Microsoft Teams API に統合されることで、両社のユーザー企業の従業員の生産性を向上し、Teams でのセキュアでコンプライアンスに準拠したコラボレーションを実現します。」

¹Microsoft は DAU (daily active usage) を、デスクトップ、モバイル、および Web を通じて、24 時間に意図的なアクションを実行したデイリーユーザーの最大値と定義しています。意図的なアクションには、Teams でのチャットの送受信、会議への参加、ファイルの開封などが含まれます。自動起動、画面の最小化、アプリの終了などのパッシブアクションは含まれていません。

参考情報：

- Blog: [Safe Collaboration with McAfee and Microsoft Teams](#) (英語)
- [McAfee MVISION Cloud for Microsoft Teams Landing Page](#) (英語)
- [Data Sheet](#) (英語)
- [McAfee® MVISION Cloud Security Risk Assessment](#)

マカフィーについて

マカフィーはデバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を越えて共に力を合わせることで実現するより安全な世界を目指し、マカフィーは企業、そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。詳細は <https://www.mcafee.com/ja-jp/> をご覧ください。

*McAfee、マカフィー、McAfee のロゴは、米国およびその他の国における McAfee, LLC の商標又は登録商標です。

*その他の会社名、製品名やブランドは、該当各社の商標又は登録商標です。

<本情報のお問い合わせ>

マカフィー株式会社 (<https://www.mcafee.com/ja-jp/>)

広報担当 戸田

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 階

Tel: 070-2680-0731 Fax: 03-5428-1480

hiromi_toda@mcafee.com